



宮崎大学医学部は2024（令和6）年に
開講50周年を迎えます

開講 **50** 周年
記念事業

宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学 開講 50 周年記念事業のご案内

*** 趣意書 ***

令和5年11月

(第二版)

国立大学法人宮崎大学

宮崎大学医学部 開講50周年記念事業事務局

ご挨拶

宮崎大学医学部は、前身である宮崎医科大学として、昭和49年（1974年）6月に宮崎県民の強い要望と無医大県解消を目指す国の構想の一環に基づき設置され、その後、旧宮崎大学との統合を経て、令和6年（2024年）に開講50周年を迎えることとなりました。

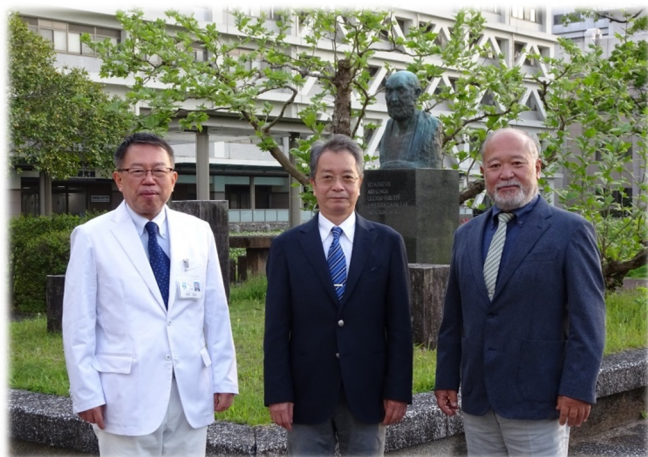
この間に「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命とし、医学部医学科入学定員への地域枠・地域特別枠の導入、病院の再整備、大学院医学獣医学総合研究科（修士課程・博士課程）や大学院看護学研究科（修士課程）の設置など、診療・教育・研究環境の整備を進め、多くの医療人を輩出してまいりました。

このたび、開講50周年を迎えるにあたり、宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業として「医療人育成共創拠点形成事業」を創設し、宮崎大学基金を通じて、将来を担う次世代を支援する施設整備計画を展開しております。

本学卒業生をはじめ、関係の皆様におかれましては、当記念事業の趣旨にご賛同を賜り、格別のご支援、ご協力をいただければ幸甚に存じます。

国立大学法人宮崎大学

医学部長	菱川 善隆
医学部附属病院長	帖佐 悦男
医学部医学科同窓会会長	丸山 眞杉



帖佐 悦男 菱川 善隆 丸山 眞杉

背景はヒポクラテス像とスズカケノキ（＝ヒポクラテスの木）



宮崎医科大学

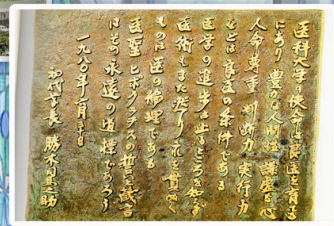


宮崎大学医学部



宮崎大学医学部は2024（令和6）年に
開講50周年を迎えます

開講 50 周年 記念事業



宮崎大学医学部は、前身である宮崎医科大学として昭和49年（1974年）に宮崎県民の強い要望と無医大県解消を目指す国の構想の一環に基づき設置され、その後、旧宮崎大学との統合を経て、令和6年（2024年）に開講50周年を迎えることとなりました。

昭和48年10月 国立医科大学（宮崎県）創設準備室 設置

昭和49年 6 月 宮崎医科大学 設置

昭和49年 7 月 第1回入学式 挙行

昭和49年 7 月 開学記念式典 挙行

昭和50年 3 月 講義実習棟 竣工

昭和52年 3 月 基礎・臨床研究棟 竣工

昭和52年10月 医学部附属病院 開院

昭和53年10月 附属図書館 竣工

昭和54年 6 月 病床を600床に増床

昭和55年 3 月 第1回卒業証書授与式 挙行

昭和55年 4 月 宮崎医科大学大学院医学研究科 設置

昭和59年 3 月 第1回大学院学位授与式 挙行

昭和59年 6 月 開学10周年記念式典 挙行

平成 2年 6 月 救急部 設置

平成 4年 4 月 集中治療部 設置

完成間近の講義実習棟（昭和50年3月）



昭和51年



平成15年10月

宮崎大学と宮崎医科大学が統合

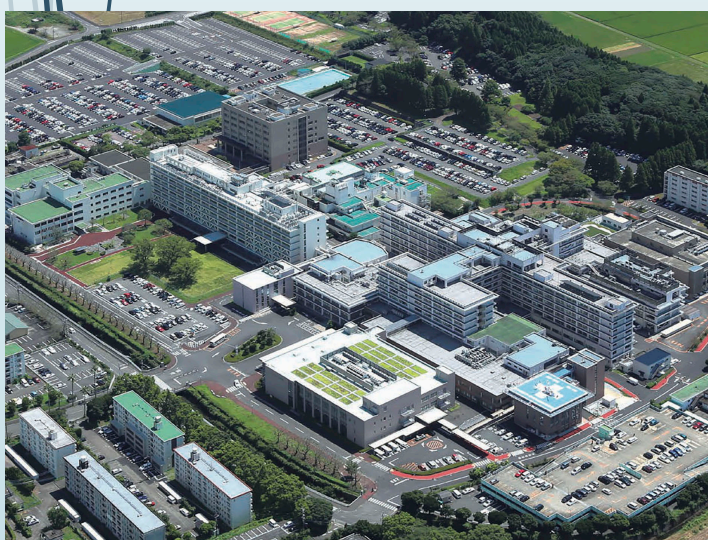
平成16年 4 月

国立大学法人宮崎大学 創設

昭和52年10月29日



路線バス開通（昭和52年10月）





宮崎大学医学部は2024（令和6）年に
開講50周年を迎えます

開講 50 周年 記念事業

～ 宮崎大学基金 医療人育成共創拠点形成事業 ～

開講50周年を迎えるにあたり、将来の医療を担い、持続発展性をもって地域・社会に貢献する
良き医療人を育成し、生命科学分野の研究拠点となるアカデミック・ゾーンを構築する『医療人
育成共創拠点形成事業』を展開します。



勝木記念講堂（仮称）整備（2024年施工）



臨床シミュレーション
演習ルーム拡充（2022年増設）



学生売店（2022年改修）



図書館：医学分館（2020年改修）



グループ学習室（2020年増設）



学生食堂（2022年改修）



開講50周年記念事業
ホームページはこちら

～ 宮崎大学基金 医療人育成共創拠点形成事業へのご寄附のお願い ～

卒業生及びご関係の皆様におかれましては、本事業の趣旨にご賛同いただき、格別のご理解を賜り、ご支援・ご協力をお願いできれば幸甚に存じます。



宮崎大学医学部は2024（令和6）年に
開講50周年を迎えます

開講 **50** 周年
記念事業

2024（令和6）年 10月 13日（日）開催！

シーガイア コンベンションセンター

開講50周年 記念講演会・式典・祝賀会

医学部50年の歩み 新たな一步を篠懸と共に

篠懸会 Presents

徳永 二男 ヴァイオリンリサイタル



©ヒダキトモコ

徳永 二男（ヴァイオリン・指揮）

Tsugio Tokunaga, Violin

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。

2024年4月から広島交響楽団ミュージック・アドバイザーに就任する。

ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて齋藤秀雄氏に師事。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。68年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。76年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。長年、ソロ・コンサートマスターの重責を担う。N響在籍時代より欧米から招かれる。とりわけケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演でのサヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートは絶賛を博した。94年にN響を退団し、ソロ、室内楽に専念。92年より鎌倉芸術館ゾリステンを主宰し、95年から2013年までJ Tアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、96年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。

ソリストとしては、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など国内外のオーケストラからたびたび招かれている。08年から毎年東京でリサイタルを行うほか、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。16年には、楽壇生活50周年を迎え、文化庁長官表彰を受ける。20年に伸道郁代氏と行ったベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会は大きな注目を集めた。多忙な演奏活動の一方、後進の指導にも取り組み、弟子の多くが国内外で活躍している。15年のティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員も務めた。楽壇生活55周年を迎えた21年には、多数の弟子や演奏家が世界中から集い記念演奏会を行った。

近年は指揮者としても活動。18年、クレメール氏をソリストに迎え、クレメラータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮して好評を博す。

CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、バガニーニのカプリースなどリリース多数。

10月14日（月・祝）「開講50周年 記念ゴルフコンペ」

宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部

一般社団法人 宮崎医科大学・宮崎大学医学部医学科同窓会

すず かけ 篠懸会のご案内

一般社団法人 宮崎医科大学・宮崎大学医学部医学科同窓会（篠懸会）は、昭和 55 年に宮崎医科大学同窓会として発足しました。平成 30 年 4 月に宮崎大学医学部医学科後援会と統合し、在学生も正会員となり、その代表者 6 名が議決権を持つことで、在学生の意見も反映される形となりました。そして、平成 31 年 4 月からは一般社団法人となり、より一層、社会的信頼を得られる組織を目指しております。

現在、国内外の各地で活躍する卒業生 4,219 名が同窓会を通じて交流し、母校の為、在学生の為に心を寄せていただいております。これから更に、卒業生と在学生が同窓生として交流を深め、在学生には宮崎の地で学んだことを楽しく意義ある時代だったと思ってもらいたいと願っています。

篠懸会を一段と盛り上げていくために、役員一同尽力する所存ですので、御協力・御支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



篠懸会 会長
丸山 眞杉
(昭和 55 年卒)

支援・助成事業

一般社団法人 宮崎医科大学・宮崎大学医学部医学科同窓会（篠懸会）は、定款第 3 条「当法人は、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に協力し、併せて医学界の振興に寄与することを目的とする」に基づき、主に下記について支援します。

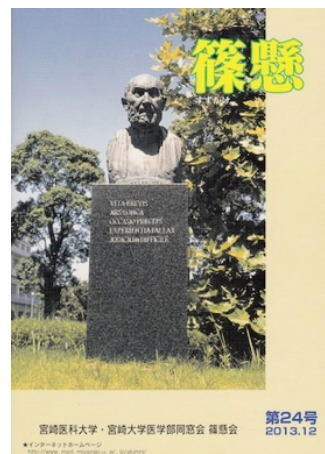
- 学外実習への助成
- 図書館の 24 時間利用に係る補助
- 医師国家試験対策支援
- グループ懇親会への助成
- 学位記授与式・謝恩会への助成
- 課外活動への助成
- 宮崎大学白菊会（篤志献体団体）運営資金協力支援
- 宮崎大学「医学研究者育成コース」研究者支援
- 医師不足対策援助活動（宮崎県、県医師会と共に）

会誌「篠懸」発行（年 1 回）

宮崎大学医学部所属の先輩医師による一年間の近況報告（研究室・診療科だより）、県外で活躍されている先輩医師から支部会や県人会の報告、また、大学祭や音楽祭、グループ懇親会の様子、部活動の大会結果などを掲載しております。

【 篠懸会ホームページ 】

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/suzukakekai/>



【寄附の方法】

本学配付の<振込用紙>又は<宮崎大学基金ホームページ>からお申込みください。

【寄附の単位】

個人	一口	10,000円
法人・団体・企業	一口	50,000円



開講50周年記念事業
ホームページはこちらから

【寄附目標額】 300,000,000円

【税法上の優遇措置について】

個人及び法人からの寄附について、税法上の優遇措置が受けられます。

詳しくは「宮崎大学基金ホームページ」をご覧ください。

【ご厚志に対する主な謝意】

宮崎大学基金にかかる特典の他、本記念事業ホームページ等でご芳名を掲載します。

さらに、一定額以上の場合、勝木記念講堂（仮称）にご芳名を刻印した銘板を掲示させていただきます。

★ 個人

ゴールド 3万円以上

★ 法人・団体・企業

- | | |
|-----------|---------|
| I. ゴールド | 200万円以上 |
| II. シルバー | 100万円以上 |
| III. ブロンズ | 50万円以上 |

開講50周年記念事業 事務局

宮崎大学医学部 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

50周年記念事業専用E-mailアドレス：50th@med.miyazaki-u.ac.jp

■ 記念事業に関するお問合せ先

総務課総務係

TEL:0985-85-9014/FAX:0985-85-3101

■ 基金への振込方法等のお問合せ先

管理課医学部予算係

TEL:0985-85-9085/FAX:0985-84-3549